

救急法講習会 ～一時救命処置法 AEDを用いて～



7月28日(金)課題研究室で、中部徳洲会病院看護師長 曾根史朗氏を招いて救急法講習会が行われた。講習用マネキンを利用しての心臓マッサージの方法やAED（自動体外式除細動器）を利用した心肺蘇生法を学んだ。

講習では、フットサル競技中にボールが胸に当たり心肺停止をした動画や、サッカー選手が競技中に心肺停止で倒れる動画を利用した説明などもあり、日常で誰にでも起こりうることを学んだ。

我々も、多くの生徒の命をあずかっている。そのような場面に遭遇したときに適切な対応が出来るようにしたい。しっかりした知識を持っていれば、助かる命がある。

♥心臓マッサージ

- ・倒れたらすぐ心停止を疑う（AEDの確保、救急車要請）
- ・胸（胸骨上）が5～6cm沈み込むくらい押し込む
- ・1分間に100～120回

♥本校AED設置箇所

- ・事務室前
- ・体育館
- ・寄合原農場（機械室）

♥熱中症

- ・水だけを飲まない（塩分等も必ず摂取させる）
- ・一気に飲まない（こまめに水分補給）
- ・こまめに休憩を取り、熱を取る

実習、部活での対応



野球部の女子マネージャー、ランニング後に倒れ意識不明 7/25(火) 朝日新聞

新潟県加茂市の加茂暁星高校で21日、野球部のマネージャーを務める2年の女子生徒（16）が練習直後に倒れ、意識不明の重体となっていることが県警への取材で分かった。野球部の練習が終わった後、練習をした球場から同校までの約3キロを走った後に倒れたという。

同校によると、女子生徒は21日午後5時半すぎ、同校から約3キロ離れた田上町の町営羽生田野球場で練習に参加した。練習は午後7時半ごろに終わり、学校までの約3キロを25分ほどかけて男子部員と一緒に走って帰ったが、到着した直後に玄関の前でしゃがみこんで倒れた。搬送された新潟市内の病院で、低酸素性脳症と診断されたという。

女子生徒は普段、この球場に行き来する際、用具などを積み込むマイクロバスに乗っていた。この日は、けがをした部員がバスに乗るなどしたため、監督は「マネージャーは、マイペースで走って戻るように」と指示したという。加茂署は、業務上過失致傷の疑いもあるため、関係者から事情を聴いている。

同校によると、監督は女子生徒が倒れた直後に駆けつけ、「呼吸は弱いけれどある」と判断し、救急車の到着を待ったという。

同校野球部は全国高校野球選手権新潟大会に出場し、17日の3回戦で敗退した。

AEDの処置がされていれば・・・

講師の曾根さんによると、呼吸とけいれんの状態を間違えた可能性があるとの指摘。心肺停止なると呼吸に似た吸気のみひきつけが起こることのこと。